

育てる漁業「栽培漁業」と 海辺教室で豊かな海を知ろう！

令和元年7月30日(火),「三原ふるさと子ども博士講座」の第2回講座を開催しました。

～広島県栽培漁業センター見学～



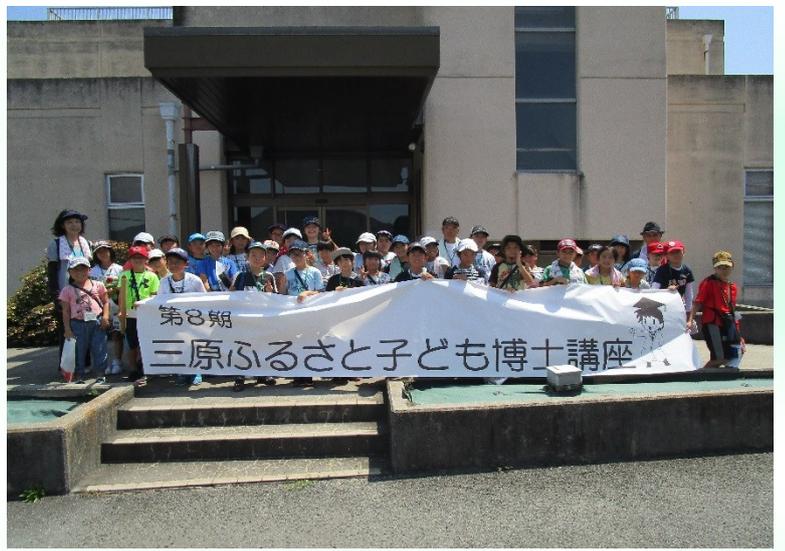
センターでのお仕事について説明してもらいました。

栽培漁業とは卵から稚魚になるまで人間が育て、外敵から身を守れるようになってから海に放流し、自然の海で成長させ、漁獲することです。



センターの中を見学しました。





栽培漁業センターの前で記念撮影！

～稚魚放流～

三原市幸崎の能地漁港にて、大きくなって帰ってくることを願いながら、マダイの稚魚を放流しました。



放流の掛け声はみんな「大きくなーれ！」
としましょう！



マダイの稚魚です。



大きくなってね～！



稚魚のエサやりもできたよ！

～海辺の生き物観察～

三原の海辺環境の大切さについてのお勉強です。



講師の方から三原の海に生息する生き物のお話を聞かせていただきました。



お話を聞いた後は、みんなで海岸へ！



☆どんな生き物が見つかったかな？☆



採れた生き物たちのお勉強



最後はみんなで記念写真